事務局便り

第８５号（令和２年６月）

【英霊に敬意を！日本に誇りを！】

近畿偕行会

巻頭言

４・５月は武漢ウィールスの猛威の前に如何ともし難く、諸行事がすべて中止となりました。
新年度早々多難な滑り出しとなりました。
武漢ウィールスの跳梁跋扈の現状は、まさに国難・有事と言える情勢であります。
緊急事態宣言は全面解除されたとは云え前途多難、ぶり返しも予想されます。
皆様におかれましては、くれぐれも健康管理、感染防止に留意され、共にこの試練を乗り越えて参りましょう！！
この国難を乗り越え後日、笑顔でお会いできるのを楽しみにしております。
担当　加賀本

案内事項

令和２年度第２回理事会

令和２年度第２回理事会を７月１６日（木）１６００～１７３０で開催を予定しております。
議題は、①令和２年度特攻勇士慰霊祭
②令和２年度パール博士献花祭、③大阪護国神社英霊感謝祭、④その他です。
理事の方には、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。
出欠は、７月１０日（金）までに事務局から電話又はメールにて確認させて頂きます。
なお、その後１８００からは歴史研究会を実施します。
Tel.：078-952-3063　携帯：090-3844-3296
Mail：dfquk007@kcc.zaq.ne.jp 担当　熊谷

令和２年度「特攻勇士顕彰会」理事会

令和２年度第１回「特攻勇士顕彰会」理事会を、８月１日（土）１５００～１７００大阪護国神社で開催を予定しています。理事の方々には別途ご案内を致します。
担当　熊谷

６月・７月度歴史研究会

順延続きで誠に申し訳ありません。
６月・７月度は以下で予定します。
ご参加をお待ちしております。
会員以外の方でも参加できます。お声掛けください。また、ライフワーク等の研究発表の場としても大いにご活用下さい。
場所は、神戸大学凌霜クラブ(06-6345-1150)
大阪駅前第１ビル 11 階南側です。
講義・ディスカッション後、軽食懇親会をします。多くの方のご参加をお待ちしております。
参加を希望される方は、食事準備の都合もありますので、２日前までに加賀本までご連絡ください。必要費用は、軽食会食費代で３０００円程度です。
担当　加賀本
℡：072-785-8954　携帯 090-1241-8877
Mail：akio@room.ocn.ne.jp
【なお、両月度とも、メール通信者には後日、資料を送付します。それ以外の方で欲しい方は、メールアドレスをお知らせ下されば送付します。】

６月度

日時：６月２５日(木)　１８～２０時
内容「知ってはいけない現代史の正体」です。
小野寺顧問に担当して頂きます。
著者は、馬渕睦夫氏です。
「誰が戦争を望み、利を得てきたか」そこから、本当の歴史が見えてくる。
グローバリストに歪められた「偽りの歴史」すなわち、国際金融資本「ディープステート」によって歴史はいかに都合よく捻じ曲げられてきたか、

世界を操る「ディープステート」はいかにして生まれたのか
本当の黒幕勢力として「ディープステート」が存在するのだということを理解しなければ、国際情勢を理解することはできません。
そこを抜きにして、米朝関係はこれからどうなるのか、米中の貿易戦争はどうなるのか、あるいはプーチン大統領の運命はどうなるのかなど、
そういったことをいくら議論しても隔靴掻痒になってしまいます。
対米戦争からさかのぼり、混迷する現在まで。教科書には書かれない真実の現代史。を暴く！
ディープステートつまり世界の真の支配者の原点は、ある勢力がある時期、アメリカの重要な部分を牛耳ったことにあります。
アメリカの重要な部分とはつまり、「金融」と「司法」と「メディア」です。
ある勢力がまず「金融」を牛耳って、ディープステートが基盤を固めたその発端は、２０世紀初頭、１００年ほど前に遡るそうです。
歴史の真実を知り、大いにディスカッションしましょう。

７月度

第２回理事会開催のため、第３木曜日１６日となっておりますのでご注意下さい。

日時：７月１６日(木)　１８～２０時

内容：『仏教の経典と基督（キリスト）教の聖書における共通内容と日本における聖書の中の似姿』です。
賛助会員豊浦義友氏に担当して頂きます。
「仏経と聖書」その中に記された共通の内容を紹介し、宗教の眞の目的を再確認しましょう。
また聖書の中の事柄と日本の伝統行事の類似性を紹介されます。
新しい分野、観点からの講義を聞き、大いにディスカッションしましょう。

令和２年度会費納入のお願い

会費は、近畿偕行会の活動を円滑かつ効果的に運営するための軍資金です。まだ納入されておられない方は、８３号に同封の「振込取扱票」にて、メール会員の方は、「近畿偕行会（00900-6-29358）」宛に、振込みの程、宜しくお願い致します。
担当　加賀本

会員増勢のお願い

ご遺族・戦友が亡くなられて行く中、戦没英霊慰霊の灯を消してはなりません。国のため命を捧げた英霊に対する感謝を忘れ、祖国への誇りを持てない国民、その国は亡びると言います。
令和元年度末で、会員数は１４０を割りました。
「英霊に敬意を！日本に誇りを！」をモットーとする崇高な使命を有する近畿偕行会を潰してはなりません。何としても盛り上げねばなりません。
解決策は、一に、会員の増勢を図る他ありません。
◎帝国陸軍関係会員の皆様には、ご子弟、お孫さんを家族会員に！！
◎自衛隊ＯＢ会員の皆様には、同期生・後輩を正会員に！！子弟を家族会員に！！
◎本会の趣旨に共鳴する、身近にいる、志ある草莽の士を発掘し、賛助会員に！！
ご協力を衷心よりお願い致します。
情報を頂ければ、事務局で対応いたします。
担当　加賀本

報告事項

昭和殉難者法務死英霊追悼年次法要

４月２９日（水・昭和の佳節）に予定しておりました昭和殉難者法務死英霊年次法要行事は、武漢ウィールスの猛威ため中止となりました。
なお当日は、法務死された英霊の御霊の安寧を願い、高野山真言宗菅長総本山金剛峯寺座主　葛西光義猊下以下高僧の方々が読経による法要を執り行ってくださいました。
参加予定者全員、参集は叶いませんでしたが、それぞれの地で、英霊に対し心からなる感謝と慰霊の誠を捧げられた事と拝察いたします。

以下に当日賜りました高野山真言宗菅長総本山金剛峯寺座主　大僧正光義猊下の昭和殉難者法務死精霊追悼文を記します。

昭和殉難者法務死精霊追悼文

夫れ　仁者は正に天下の憂いに先立ちて憂え天下の楽しみに遅れて楽しむと　今ここに弔意を捧げんとする山下奉文大将閣下及び一千八十余柱の英魂は　身　夙に軍籍にあり只菅国策の伸長に専念し　偏に国運の開拓に戮力せり　然れば　大東亜戦争の勃発するや　身を塞北に挺してして砲弾弾雨を凌ぎ　肝を南溟に砕いて屍山血河を超え　具に　艱難を嘗めて　従容完爾　唯　国あるを知りて我あるを知らず　義あるを思うて身あるを忘る蓋し　天の　将に大任を下さんとするや　必ず先ず　その心志を苦しめ　その筋骨を労せしむればなり

然るに何ぞ図らん時運拙く　国策の破綻に遭うて所期の目的を果たすこと能わず功は敗戦の汚名に抹し　労は降伏の恥辱に包まれて慰むること能わざりき　遂に　名を戦犯裁判に借りて　冤罪を以て刑場に誅せらる　その恨む処　真に万解耳之を聞くに堪えず　心之を偲ぶに耐えざりき

爾来　光陰早くも転じて七十有余年を閲す　日愈々遠くして　思い愈々滋くして　情更に溢る

怪々たる海潮の声を聴いては　魂魄の今に迷えるかを疑い　燦燦たる天辺の星を仰いでは　英霊の今に瞬けるにあらざるかを思う　重ねて　其の功績の平和　安寧の風に蕩散氏　日々忽忙の波に亡失せられんことを恨む

如かじ　幽魂を天地の外に慰むるの手段を執らんには　よって　高野山奥の院に追悼の碑を建立し弘法大師の照鑑を仰ぎ　その雄志を紫明の山水に留めんとす　定んで　諸々の勇者等大師寶前に再会を果たし　その思念を馳せて　南海に激戦の孤島を訪い　北満に草むす墓前に集わん

今　天下大疫す　病魔　その性明らかならずして普天率土を覆い　悪疾老若男女を選ばず　肺腑を襲う　薬効未だ現れず　病床に施術空しく　死屍累々として路上に満ち　哀哭耳をつんざく　遂に感染する者二００万余　死亡する者一０万を超え収まる処を知らず　物心の混乱激甚にして　空前の修羅場を現ず

小衲

山内浄侶と共に　般若理趣の妙典を唱え　光明真言の神呪を誦じて　諸々の英霊に病魔の退散を請い奉る　願わくば　護国の丹心を以て　速やかに悪疾を砕き給わんことを

南無大師遍照金剛

令和二年四月二九日

高野山真言宗管長

総本山金剛峯寺座主　大僧正光義　敬白

担当　加賀本

令和２年度総会

５月１４日に予定しておりましたが、中止とせざるを得なくなりました。

１年に１度、多くの会員・草莽同志が一堂に会せる貴重な機会でしたのに残念至極であります。

来年度の総会ではお元気なお姿、笑顔でお会いできる事を祈るに切なるものがあります。

担当　加賀本

令和２年度第１回理事会

４月１６日に主として総会の議題について審議する予定でしたが、中止となりました。

理事間のメール回覧審議により、以下の議案が承認されました。

１．本年度総会の中止

２．元年度決算報告

138,152 円の黒字、健全財政でした。

３．２年度事業計画

元年度とほぼ同じ、追加事業等なし。

４．２年度理事会役員名簿等

元年度と同じメンバーです。

担当　熊谷

紹介案内

賛助会員岡本幸治先生からご投稿を頂きました2編を掲載します。
皆様からの投稿・ご意見等をお待ちしております。

日韓関係悪化の背景

岡本幸治

僕は商社勤務を止め大学教師になって以来、欧米志向の先生方が多い中、近代アジアの実情を知り、それとの関係強化を進める必要性に強い関心を寄せるようになった。韓国は日本から最も近い外国であり、貧乏教師でも毎年簡単に実地訪問し、いろんな韓国人と議論を交わすことができた。

僕が韓国行きを止めたのは、朴政権下の軍事独裁が終わり、民主化が進み出した20世紀暮れのことである。先方の政治家のお話が、敗戦後の日本教育界を長らく牛耳っていた日教組の左巻き歴史観と似たような話ばかりで、失望したからである。

その一つに、日本による35年の統治により、それまで500年続いた李氏朝鮮(李朝)の朝鮮民族が被った深刻な被害として**「七奪」**という聞いたこともない言葉があった。時間をかけて長々と説明してくれた相手の言い分をここでは簡単に説明し、矢印(→)の後でその偏見や誤解を指摘しておこう。

1　主権：李朝は独立国家であった
→実際は清朝に朝貢する属国であり、日清戦争後締結した講和条約の第1条で、日本が朝鮮の独立を認めさせたのだ。

2　国王：国王を奪った
→日本は李王家を存続させたばかりでなく日本の皇族の一員に加え、歳費として180万円(原価で200億円超の巨額)を支給し、李王家の殿下に皇族方子様が嫁がれている。

3　人命：併合後米価が上がり多くの韓国人が飢えた
→日本統治下で飢え死にした者はいない。米は高く売れる日本に輸出して工業製品などを購入し、満州から安い穀物を輸入していた。併合前の1907年の調査で1167万人であった人口は、併合後1944年には2512万人と倍以上に増えている。しかもこれは、満州や日本に移住した者を除いた数である。

4　国語：日本語を強制し朝鮮語を奪った
→併合後一世代を経た1941年の調査で日本語を「やや解する」「普通会話ができる」は全人口の16%でしかない。しかもハングルを普及させたのは日本人なのである。支配階級であった両班は、ハングルを軽蔑していた。

5　生命：日本は創氏改名を強制した
→満州国が建国された際に多くの朝鮮人が満州開拓団として移住したが、満州人とシナ人は朝鮮人が嫌いでしばしば迫害されたので、日本名を持つことが生きていく上でも有利になった。もともと朝鮮では両班階級にしか姓がなかったので、8割の朝鮮人が日本名を選択した。創氏改名は強制ではなかった。

6　土地：耕地まで奪った
→総督府が行った土地調査では、279万町歩とされていた耕地が487万町歩あった。両班が税金の支払いを逃れるために土地を隠していたのである。それを両班が「土地を奪われた」と騒いだ。このような土地はすべて朝鮮人に売られている。1922年の統計を見ると、朝鮮における日本の法人・個人の保有地及び国有地の合計は、全耕地面積の6%でしかなく、田は朝鮮人の所有地であった。

7　資源：日本の経済発展に必要な商品市場と原料供給地とするために豊かな資源を略奪した。そのために李朝時代に始まっていた民族資本の銀行も倒産して朝鮮民族の経済活動は委縮し、民族産業の発展が抑え込まれてしまった
→日本は様々な面で朝鮮の近代化を進めた。「民族資本の銀行」と称しているのは個人向けの金貸しでしかなかった。
35年の統治機関に日本は、鉄道、道路網などの産業基盤の整備を初め、巨大な水豊ダム

や産業施設の建設費その他に約 21 億円（63 兆円以上に相当）の巨費を投入している。

米国大統領選挙報道の在り方について

岡本幸治

この原稿を書いているのは、令和 2 年 3 月下旬。世界の新聞・TV は「武漢肺炎」（その素性を明らかにするために「新型コロナウイルス」を僕はこうに呼んでいる）の関連報道で満ち溢れているが、それらに歩調を合せることは日本のマスメディアに任せて、現在進行中の米国大統領予備選挙に関して、だれも取り上げない観点から、敢えて一言申し上げておきたいことがある。

与党共和党の候補は、再選を狙うトランプ大統領である。野党民主党は数人の候補が名乗り出ていたが、3 月のスーパーチューズデイを経て選別が進み、80 歳に手が届く二人の候補に絞られてきた。大胆な社会主義的政策を提示している元気な老人と、中道政策を主張している前副大統領である。勝利の女神は、後者に微笑みかけている。

さて、例年米国大統領選挙報道になると、その動向をあれやこれやと大きく扱うことを習わしとしてきたわが国の TV・新聞は、武漢肺炎の地球規模の拡大によって、例年に比べると明らかにおとなしくなっている。しかし、日本のメディアがこれまで行ってきた米国大統領選挙の関連報道や解説について、この際「日米関係のあり方」という大きな視点に立って指摘しておきたいことがある。

世界の動向を顧みると、米国は 20 世紀に入って急速に力を増大し、世界の覇者として台頭するという目覚ましい発展を遂げてきた。世紀中ごろまでに、日独という新興覇権国を破り、その後、社会主義国の覇者となったソ連をも世紀末までに屈服させた米国は、資本主義国家を束ねる覇者として、21 世紀にも更なる発展を遂げ、世界一の超大国として君臨するであろうというバラ色の展望が描かれてきた。対米戦争を決断して 3 年半にわたり勇戦奮闘したが、史上初の無残な敗北を喫した日本はといえば 6 年以上も米国の占領下に置かれ、それに追随する日本人の協力のもと天下りの徹底的な国家改造が行われた。

占領下に行われた厳格な言語統制や徹底的な検閲により、占領政策の忠実なる報道・解説者となった新聞などは、未だに自主独立の精神に乏しいところがある。米国大統領の選挙の経過報道も、日本のメディアはニューヨークタイムズなどの進歩的な左巻き新聞の解説等を縦文字に訳して、日本の読者に提供しているものが多いことに注意をする必要がある。

米国人が、自分たちの国政をゆだねる最高指導者を選ぶ選挙に興奮するのはご自由である。彼らがこういうことに熱狂するのは、歴史が短く、庶民が熱狂して迎えられる共同体のお祭りが少ないからである。これは、日頃の鬱憤晴らしにもなる賑やかな「お祭り騒ぎ」なのだ。

しかし、日本人にとっての関心事とは、このお祭り騒ぎの結果、最終的にだれが米国の最高指導者・権力者になるのか。新大統領は日本国に対いて、いかなる考えや政策を持ち、今後いかなる対日政策を展開するのかを知ることである。日本についてあまり関心がなく、政策らしきものもない大統領であるときは、彼が選ぶであろう対日政策の最高立案者・執行者にも目を向ける必要が出てくる。これは日本の国益に関わることなのだ。

われわれ日本人にとって、新大統領が選ばれるまでのお祭り騒ぎに歩調を合わせて、これまで大きな報道・解説記事に仕立ててきた日本のメディア報道は、何の意味も持たない暇つぶしにしかすぎないということなのだ。連日の巨大な「武漢肺炎」報道は、この点では意外な貢献をしているのかな？　　（海南タイムス：令和 2 年 4 月 15 日）

担当　熊谷

会外行事参加報告・紹介案内

参加報告

陸上自衛隊第３師団創立５９周年記念行事

５月１７日に予定されていた第３師団創立５９周年・千僧駐屯地創設６９周年記念行事は中止となりました。

梶原師団長閣下から「皆様の健康と安全を守ることを最優先に考えてのこととご理解を」との添え書きがありました。

担当　加賀本

紹介案内

今期は、特に紹介する事項はありません

担当　加賀本

和歌山偕行会便り

和歌山偕行会会長所感

「次の一手」　４月中旬現在、先物市場で原油価格が、世界経済の先行きを懸念して、大幅に下げています。OPEC は、１割の減産を決定した様ですが、ロシアやサウジは大弱りでしょう。それらの影響で、和歌山ではガソリン１リッター、安いスタンドでは 116 円です。さて、外交的には、今こそ、中国ではなくロシアにマスクや防護衣等などを送るべきでしょう。北方四島について、尋常なことでは返ることがないのは、歴史の経験則です。沖縄は例外中の例外で、米国も大らかな対応が出来る余裕があったのでしょう。今米国は、明らかにシェールガス・オイルを背景に中東から撤退し、来るべき中国との覇権争い・戦争に備えようとしています。米国の凄みは、当面のコロナ対策をやりつつ、世界覇権を担保すべく着実に手を打っていることです。それでは、日本が打つべき「次の一手」は、何なのでしょう？　国政を担う与野党の皆さん！　衆智を集めて具体策を講じ、国民を安心させて下さい！！

担当　奥野

編集後記

４、５月は本会を初め、志を同じくする諸団体の諸行事も中止となりました。武漢ウィールスの影響があったとは云え、特にご英霊への慰霊が疎かになった様な心苦しい期間でありました。

今後は志も新たに活動に励んで参りたいと思っております。

梅雨入りも間近でしょうが、武漢ウィールス撃滅の暁には、写真の様な見事な・素晴らしい虹が見られる事でしょう！！！

担当　加賀本

［追伸］

You Tube に［コロナに負けるな！］中部方面音楽隊［いのちの歌（鵜真衣）］がアップされています。

ご視聴下さい。

近畿偕行会

会 長　加賀本昭雄

編集責任者　熊谷　勉

〒651-1513 神戸市鹿の子台北町 3-1-4-201

Tel & Fax:078-952-3063

編集委員　加賀本　昭雄

〒664-0012 伊丹市緑ヶ丘 2-97

Tel:072-785-8954